

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
給食運営管理論実習Ⅲ	阿部・駒田	実習	1	栄養士必修	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>校外実習の目的は、給食業務を行なうために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識及び技能を修得することである。また、栄養士や管理栄養士が配置されている学外の特定給食施設において、実際の給食運営や栄養管理業務を学び、さらに社会的責任を自覚する栄養士として成長するために行うものでもある。</p> <p>本科目は、校外実習として学外の施設（病院・社会福祉施設・事業所のうち一施設）において実習を行う。</p>						
到達目標	<p>各特定給食施設において担当栄養士の指導のもと、給食運営の実習体験を通して資質の向上を図るとともに勤労の精神や強い責任感を養うことを到達目標とする。</p>						
回	学習内容						
1	事前指導 実習の事前説明、準備物や研究課題についての指導						
2	実習 1 日目 施設見学、衛生教育、厨房業務説明、実習課題の提出と評価						
3	実習 2 日目 厨房業務（検収、調理、盛り付け、提供、食器洗浄 等）						
4	実習 3 日目 課題研究報告、厨房業務（調理、盛り付け、提供、厨房清掃 等）						
5	実習 4 日目 厨房業務（下処理、調理、盛り付け、提供 等）						
6	実習 5 日目 課題研究評価、厨房業務（発注、調理、盛り付け、喫食調査 等）						
7	事後報告 校外実習の反省会、報告会						
8	※上記は校外実習の一例である。実習先によって異なる場合がある為、変更があった場合はシラバス等を再配付する。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
予習内容 復習内容	予習：実習先から出された課題について調べておく等 復習：実習ノートの整理と考察メモを書き込む等						
教科書	本学の「校外実習ノート」を配付する。						
成績評価	施設からの成績（100％）によって評価する。						
実務経験							
その他 特記事項	<p>校外実習においては、学内で事前事後評価を行なう体制を整えることが規定されている。本実習の受講者は、1年生時に開講された栄養士必修科目のすべての単位を取得するとともに、ある一定の評価基準に達しなければならない。さらに、校外実習は実習生としての謙虚な態度や意欲的に取り組む姿勢の他、社会人としての自覚が必要とされるため、そのことを自覚して受講しなければならない。校外実習に係る費用はオリエンテーション時に集金する他、別途交通費等の負担を要する場合がある。</p>						